住吉暗川

【所　在　地】大島郡知名町住吉前間当り 2458 － 1，2455 － 2
【種　　別】県指定天然記念物
【指定年月日】平成 13 年４月 27 日

↑地下河川

暗川とは，地下河川を伴う石灰岩洞穴のことで，石灰岩層が発達している沖永良部島，与論島，徳之島南部で確認されている。

第四紀更新世に隆起してできたサンゴ石灰岩は，国内では主に奄美諸島と沖縄諸島に分布する。隆起サンゴ石灰岩とそれより時代の古い基盤岩からなる地域では，水はサンゴ石灰岩の中に貯まることなく，亀裂・隙間・ドリーネなどを通じて地下に潜入する。そして，地下水を浸透させない基盤岩の上面を地下河川として流れ，海岸線付近にまで達している場合がある。この地下河川の流れる基盤岩上のサンゴ石灰岩内にできた空洞が暗川である。

暗川が単なる 鍾 乳 洞や石灰岩洞穴と根本的に異なる点は，単に貴重な水を得る水源地としてだけでなく，地域の人々の社交の場としても利用されるなど，そこを中心とした生活の場となっていることである。

知名町には，４つの暗川（住吉，正名，田皆，ニャートゴウ）が知られている。そのうち，住吉暗川は，我が国に現存する最大規模のものである。